

春季営農座談会資料

令和4年3月 JAみい

1. あいさつ
2. JA事業報告 (P 1)
3. 持続可能な地域農業を確立する取組について (P 2)
4. 高品質米・大豆・麦の安定生産の実践について
(P 3～P 5)
5. 園芸振興方針について (P 6～P 7)
6. 農産物買取販売強化について (P 8)
7. 生産資材関係について (P 9)
8. その他

主要事業概況表

令和4年1月31日現在 (単位:千円)

| 事業所名 | 正組員数 | 貯金残高 | | | 貸出金残高 | | | 長期共済保有高(万円) | | | 購買品供給高 | | | 販売品販売高 | | |
|-----------|-------|------------|------------|--------|------------|------------|-------|----------------|------------|--------|-----------|-----------|--------|-----------|-----------|--------|
| | | 1月末計画 | 1月末実績 | 達成率 | 1月末計画 | 1月末実績 | 達成率 | 令和3年度 期首保有額 | 1月末保有高 | 期首対比 | 1月末計画 | 1月末実績 | 達成率 | 前年同月実績 | 1月末実績 | 前年対比 |
| 小郡中央支店 | 1,631 | 28,995,000 | 29,221,209 | 100.8% | 5,359,260 | 5,186,142 | 96.8% | 8,822,783 | 8,409,584 | 95.32% | 26,060 | 37,548 | 144.1% | 1,176,617 | 1,083,501 | 92.1% |
| 北野中央支店 | 1,384 | 24,468,000 | 24,236,896 | 99.1% | 4,114,857 | 4,100,011 | 99.6% | 8,821,590 | 8,447,183 | 95.76% | 24,804 | 33,514 | 135.1% | 3,697,102 | 3,485,258 | 94.3% |
| 大刀洗中央支店 | 1,422 | 22,848,000 | 22,750,014 | 99.6% | 2,721,655 | 2,587,500 | 95.1% | 7,506,309 | 7,144,015 | 95.17% | 21,985 | 29,405 | 133.8% | 908,042 | 774,152 | 85.3% |
| 本店・営農センター | | 674,000 | 806,498 | 119.7% | 1,007,339 | 997,187 | 99.0% | | | | | | | 44 | 46 | 104.6% |
| 農機燃料センター | | | | | | | | | | | 635,200 | 591,133 | 93.1% | | | |
| ライスショップ | | | | | | | | | | | 19,007 | 18,606 | 97.9% | | | |
| 経済センター | | | | | | | | | | | 1,607,350 | 1,512,396 | 94.1% | | | |
| 経済部 | | | | | | | | | | | 2,400 | 3,327 | 138.6% | | | |
| 合計 | 4,437 | 76,985,000 | 77,014,617 | 100.0% | 13,203,111 | 12,870,840 | 97.5% | 25,150,682 | 24,000,782 | 95.43% | 2,336,806 | 2,225,929 | 95.3% | 5,781,805 | 5,342,957 | 92.4% |

【 持続可能な地域農業を確立する取組 】

1. 令和4年度 経営所得安定対策について

- 対象者：担い手農家(認定農業者、集落営農、認定新規就農者)
 内容：Ⅰ 畑作物の直接支払交付金(ゲタ対策)
 Ⅱ 米・畑作物の収入減少影響緩和交付金(ナラシ対策)
 Ⅲ 水田活用の直接支払交付金

① 令和4年産の水稲作付について

令和4年産も県と地域の水田協議会が中心となり、水稲の過剰作付を無くし需要量と価格安定を図るために作付目標をお知らせ致します。

[水稲作付率](予定含む)

| | 令和4年産 | 令和3年産 | 令和2年産 | 令和元年産 |
|------|--------|--------|--------|-------|
| 北野町 | 44.54% | 45.14% | 46.22% | 47.0% |
| 小郡市 | 50.0% | 50.2% | 50.1% | 50.2% |
| 大刀洗町 | 54.0% | 54.1% | 53.5% | 54.0% |

2. 農業経営等に関する取組

- ① 集落営農組織・個別経営体の法人化支援
 農地中間管理事業の活用、法人化に関する研修会を開催致します。
 ② 新規就農者支援
 農地・栽培品目・資金・補助金等の相談支援をJAと関係機関が連携し行います。

3. TAC活動について

「地域農業の担い手」に日々出向き、その「担い手」の声・要望を収集しJAにつなぐことにより、JAグループの事業に反映させ担い手の要望に応じていきます。

4. 国・県等の補助事業活用について

① 産地基盤パワーアップ事業(国)

地域一丸となって収益力強化に取り組む産地に対し、計画策定経費、計画の実現に必要な農業機械のリース導入や集出荷施設の整備に係る経費等をすべての農作物を対象として総合的に支援する事業です。

対象者：農業者・農業者団体等

対象施設等：パイプハウス ※農業機械導入についてはリースになります。

補助率：1/2

令和3年度実績 北野地区9件 小郡地区4件 大刀洗地区1件 管内計14件

② 活力ある高収益型園芸産地育成事業(県)

福岡県園芸農業の持続的な発展を図るために、先進技術の導入や省力機械・施設等の生産条件の整備を進め、収益性が高く活力ある園芸産地を育成する事業です。

対象者：農業者・農業者団体等

対象施設等：パイプハウス・管理機・播種機・堆肥散布機・野菜保冷庫他

補助率：1/2または1/3

令和3年度実績 北野地区13件 小郡地区4件 大刀洗地区2件 管内計19件

5. 労災(労働者災害補償制度)について

JAみいでは事業主及び家族従事者が加入できる労災保険の特別加入制度の労災組合(特定農作業従事者・指定農業機械作業従事者)があり、組合を通じての加入ができます。特別加入制度とは、労働者以外の方のうち、業務の実態や、災害の発生状況からみて、労働者に準じて保護することがふさわしいと見なされる人に労災保険に特別に加入することを認めている制度です。

① 特定農作業従事者(年間販売額300万円以上又は経営面積2ha以上の方が加入できます)

- Ⅰ トラクター等の農業機械を使用する作業
 Ⅱ 2m以上の高所での作業
 Ⅲ サイロ等の酸欠危険のある作業 Ⅳ 農薬散布 Ⅴ 牛・馬・豚に接触する作業

② 指定農業機械作業従事者(指定された機械を使用し農作業を行う方が加入できます)

動力耕耘機その他農業用トラクター・動力溝堀機・自走式田植機・自走式防除用機・自走式動力刈取機・自走式収穫用機械・トラック、自走式運搬用機械・動力脱穀機や動力草刈機などの定置式または携帯式機械・無人航空機

令和3年度 労災(労働者災害補償制度)加入件数

特定農作業従事者 北野地区15件 小郡地区2件 大刀洗地区4件 管内計21件
 指定農業機械作業従事者 北野地区3件 小郡地区39件 大刀洗地区9件 管内計51件

お問い合わせ先

JAみい 営農センター 営農企画課 TEL 78-3037
 北野中央支店 営農経済課 TEL 78-3799
 小郡中央支店 営農経済課 TEL 72-1000
 大刀洗中央支店 営農経済課 TEL 77-0045

【需要に応じた米づくりの実践】

1. 米をめぐる状況について

農林水産省が令和3年11月19日に公表した「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」で定めた令和3/4年の需給見通しは、令和3年6月末の民間在庫量が218万トン（確定値）、これに令和3年産主食用米等生産量の701万トン（令和3年10月25日現在の予想収穫量）を合わせて、供給量は919万トン（前年比▲3万トン）となる見通しです。

なお、需要量の見通しは702万トン（前年比▲2万トン）となりますが、令和3年産米の相対取引価格が令和2年産米より下落していることが需要量に及ぼす影響や、直近の米の販売量が対前年同期比で増加していること等を踏まえて、702～706万トンの幅を持って設定されています。

その結果、令和4年6月末の民間在庫量は213～217万トン（前年比▲1～5万トン）が見込まれています。

ただし、上記の在庫量については、国の見通しである需要量が目安通りとなった場合の想定であり、需要量が新型コロナウイルス感染症の状況や価格動向、コロナ影響緩和特別対策（特別枠）の販売・提供動向等によっては、今後大幅に変動する可能性があります。

○令和3/4年の主食用米等の需要見通し（農林水産省） 単位：万トン

| | | |
|-----------------|-------|---------|
| 令和3年6月末民間在庫量 | ① | 218 |
| 令和3年産主食用米等生産量 | ② | 701 |
| 令和3/4年主食用米等供給量計 | ③=①+② | 919 |
| 令和3/4年主食用米等需要量 | ④ | 702～706 |
| 令和4年6月末民間在庫量 | ⑤=③-④ | 213～217 |

2. 福岡県の米作柄状況と集荷状況

福岡県における水稻の作柄は、田植期の6月中旬や分けつ期の7月上旬が日照不足で経過し、初期生育や分けつが抑制され穂数が「やや少ない」となったことに加え、8月中旬が大雨等の天候不順により気温が低く日照不足で経過し、全もみ数が「少ない」となった。9月中旬以降は天候に恵まれ全もみ数が平年に比べ少なかったことによる補償作用で粒の肥大・充実が促進され、登熟は「やや良」となったものの、10a当たり収量は473kg（作況指数98）となりました。

| 全国地域別 10a 当たり収量 | | | | | | | | | | | | |
|-----------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|---------|------|
| | | | | | | | | | | | (単位：kg) | |
| 地域 | 北海道 | 東北 | 東山 | 関東 | 北陸 | 東海 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 | 沖縄 | 全国平均 |
| 3年産 | 597 | 581 | 545 | 531 | 493 | 503 | 517 | 482 | 485 | 319 | 539 | |
| 前年増減 | +18 | -5 | +2 | -19 | +13 | +13 | +32 | +12 | +45 | -3 | +8 | |

| 福岡県産米の集荷状況（12月末現在） | | | | | | | | | | | (単位：トン) | |
|--------------------|-------|--------|--------|--------|-------|------|-------|-------|-------|------|---------|--|
| 品種 | 主食用米 | | | | | | もち米 | 加工用米 | 飼料用米 | 米粉用米 | 備蓄米 | |
| | コシヒカリ | 夢つくし | 元気つくし | ヒノヒカリ | 実りつくし | その他 | ヒヨクモチ | | | | | |
| 3年産 | 387 | 13,090 | 13,622 | 11,451 | 1,549 | 241 | 2,230 | 1,033 | 2,136 | 790 | 75 | |
| 2年産 | 253 | 11,799 | 10,544 | 7,971 | 894 | 140 | 1,630 | 782 | 1,493 | 491 | 72 | |
| 前年比 | 153% | 111% | 129% | 144% | 173% | 172% | 137% | 132% | 143% | 161% | 104% | |

3. 令和3年産米の価格状況

玄米販売単価は、前年産に比べ下がってスタートし、その後、段階的に下がっています。

令和2年産米が需給緩和状況にあることや全国的な令和3年産米の生産状況が順調に推移していることから、早期米の玄米販売価格にも影響を及ぼしています。

また、令和2年産米の持越し在庫が42万トン以上あることから、令和2年産米と令和3年産米が並行して販売されるため、価格競争に拍車がかかることが懸念されます。

なお、現時点での玄米販売価格（市中相場、産地置き場価格）については、九州産ヒノヒカリで10,600～10,900円/60kg、関東産コシヒカリで9,600～9,900円/60kg、東北産ひとめぼれで9,700円/60kg程度と需給環境が厳しいことが販売価格に大きく影響しています。

以上の情勢を踏まえ、JAみい農産課では5つの項目を重点方針とし、その実践に取り組みます。

- ① 自主的生産調整を促し、価格安定を図る
- ② 生産調整に対し、第一に農家所得を考え大豆の作付振興を行う
- ③ 大豆の作付が難しい地域については、飼料用米等への転換を図る
- ④ 販売面では、販売先と産地の結び付きを基本とした生産・集荷・販売の取り組み
- ⑤ 産地の特色を活かしたJAふくおか米の確立

※JA米の要件

- ・ 銘柄が確認できた種子により生産された米穀（種子更新率 100%）
- ・ 登録検査機関で受検した米穀
- ・ 生産基準に基づき栽培され、栽培履歴記帳が確認された米穀

大豆新品種「ちくしB5号」の導入

JAみいでは令和6年産より『ちくしB5号』へ全面転換いたします

～大豆品種切替えの背景～

JAみいの大豆生産は、現在の栽培品種「フクユタカ」において、播種時期の長雨による播種遅れや登熟期の天候不良による大粒比率の低下等により、平均単収が200kg/10aに届かない状況が続いています。

そこで、試験栽培を重ねた結果、令和7年産からの福岡県全面転換を踏まえJAみいでは**令和6年産より大豆の生産向上に向けて、現品種の「フクユタカ」から新品種「ちくしB5号」への全面転換**を行います。

●JAみい大豆作付面積・反収の推移

| | 平成26年産 | 平成27年産 | 平成28年産 | 平成29年産 | 平成30年産 | 令和元年産 | 令和2年産 |
|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 作付面積 (a) | 63,611 | 61,537 | 60,943 | 61,629 | 61,138 | 60,481 | 48,583 |
| 反収 (kg/10a) | 188 | 176 | 188 | 195 | 181 | 122 | 93 |

ちくしB5号 品種特性

フクユタカに比べて

- 成熟期が**2日程度早い**
- 草丈がやや低く、**倒伏に強い**
- 粒は大きく、**収量は8%多い**
- 最下着莢高が高く、**収穫口スは少ない**
- 6月下旬からの**早播ができる**



草姿の比較

ちくしB5号 (左)、フクユタカ (右)

| | ちくしB5号 | フクユタカ |
|--------------|---------------|---------------|
| 成熟期 (月日) | 11月6日 | 11月8日 |
| 主茎長 (cm) | 64 | 69 |
| 最下着莢高 (cm) | 13.0 | 11.6 |
| 倒伏程度 | 微 | 少 |
| 青立ち程度 | 微～少 | 少～中 |
| 百粒重 (g) | 31.6 | 30.1 |
| 収量 (kg/10a) | 337 (108%) | 312 (100%) |
| 検査等級 | 1等 | 1等 |
| へその色 | 黄 | 淡褐 |
| タンパク質含有率 (%) | 44.6 | 45.7 |

注) 福岡県農林業総合試験場における平成24～27年の4か年平均 (7月10日播き)。



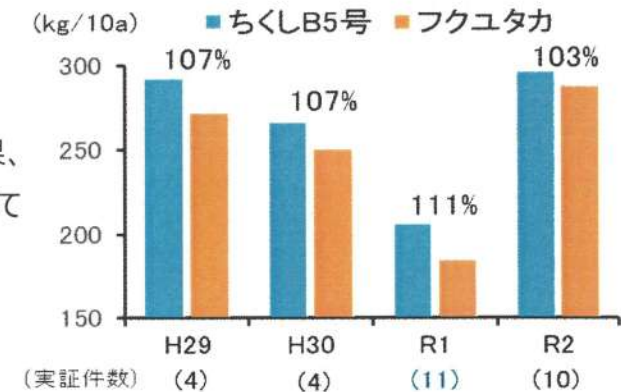
子実の比較

ちくしB5号 (左)、フクユタカ (右)

●「ちくしB5号」現地試験結果

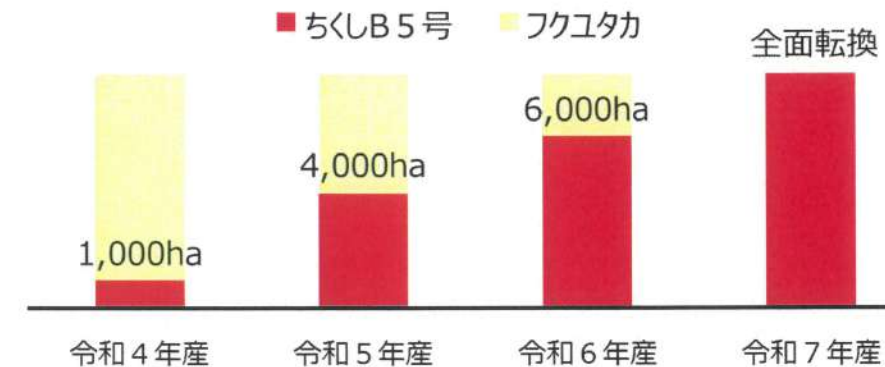
福岡県内における現地試験の結果、「ちくしB5号」は「フクユタカ」に比べて最大11%多収となりました。

(平成29年産～令和2年産)



福岡県は令和7年産で「ちくしB5号」に全面転換します！

●福岡県「ちくしB5号」導入計画



「ちくしB5号」の導入により安定供給・所得向上！

近年、九州産大豆の生産量は大幅に減少しているため、実需者からは安定供給を強く望まれています！「ちくしB5号」の導入は、実需者への安定供給に応えるとともに、生産者手取りの増加も期待できます！生産者手取りは、「フクユタカ」より単収アップすることで収入も増加する！ぜひ、大豆新品種「ちくしB5号」の導入により、生産量の確保と生産者所得の向上を果たしましょう！

【高品質麦の安定生産の実践に向けて】

1. 令和4年産麦の播種進捗状況について

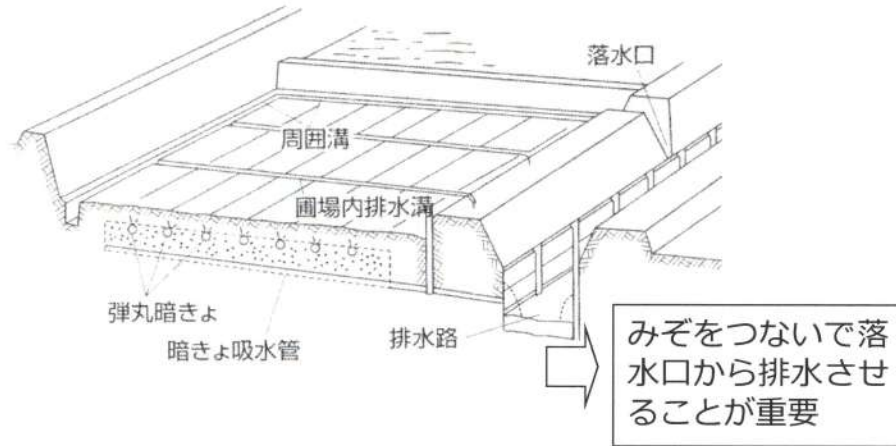
播種時の気象条件は、11月下旬にまとまった降雨があったものの、降雨日数が少なかったことから、播種作業は順調に進んだ。

出芽・苗立ちは、11月中旬播きでは、適度な水分であったことから良好であったが、11月末以降播きでは、平均気温が低かった為、出芽がやや遅れた。出芽後の生育は11月中下旬播きでは概ね平年並みと順調で、分けつ開始の時期となっている。

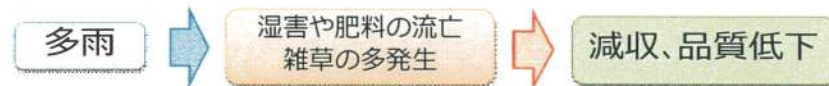
2. 重点目標

(1) 排水対策

- ・地表排水は、周囲溝（額縁排水）と、うね溝（圃場内排水溝）が基本
- ・スタブルカルチ等のプラウによる荒起しは排水効果が高い
- ・補助として弾丸暗渠や心土破碎（サブソイラ等）を施工



湿害を受けると、麦の収量・品質は大きく低下します！
排水溝の整備を充分に行った上、ほ場の落とし口をきちんと整備しましょう。
※排水対策の効果は高い！



(2) 赤かび防除

| 麦種 | 防除適期（1回目） | 防除適期（2回目） |
|----|--------------------------------|------------|
| 小麦 | 開花後（出穂から7～10日後）に実施 | 1回目の7～10日後 |
| 大麦 | 葯殻抽出期は穂揃い期後約10日（出穂後12～14日後に実施） | 1回目の7～10日後 |



- ・ちくしW2号・はるか二条については、赤かび検出が他の品種より高くなっていることから2回防除を徹底する。
 - ・他の品種についても、降雨や曇天が続く、多発が予想される場合は、2回目の防除を行う。
 - ・トップジンM水和剤散布は、（小麦：収穫14日、大麦：収穫30日まで）
- ※赤かび病の発生条件
- ・平均気温18℃以上+湿度80%以上⇒3日以上続く場合又は降雨、濃霧頻度が高い場合多く発生

3. 硬質小麦（ちくしW2号）のタンパク質含有率の向上について

| ちくしW2号福岡県JA別タンパク値の状況 ※目標値12% (%) | | | | | | | | | | |
|----------------------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | A農協 | B農協 | C農協 | みい | D農協 | F農協 | G農協 | H農協 | I農協 | J農協 |
| 元年産 | 12.6 | 12.3 | 12.1 | 10.9 | 11.1 | 11.5 | 11.8 | 11.8 | 11.7 | 11.3 |
| 2年産 | 12.1 | 12.2 | 12 | 11.6 | 11.6 | 11.3 | 11.5 | 11.5 | 12 | 12.6 |
| 3年産 | 12.1 | 12.2 | 11.8 | 11.2 | 11.2 | 11.3 | 11.5 | 11.9 | 13.4 | 12.7 |
| 平均 | 12.3 | 12.2 | 12.0 | 11.2 | 11.3 | 11.4 | 11.6 | 11.7 | 12.4 | 12.2 |

上記のようにJAみいにおいては県下最下位のタンパク値となっております。タンパク値を上げるためには穂揃期に硫酸や尿素の追肥を徹底し、含有率12%以上を目指しましょう。
※10aあたり硫酸の場合、出穂7～10日後15kg～25kg
尿素の場合、出穂7日後と14日後3.5kg～5.4kgの2回

穂揃期とは？

出穂期

全体の5割の穂が出た日

穂揃期

全体の8割の穂が出た日

タンパク質含有率12%を目指し、基本技術の徹底を図りましょう!!

- ① 土壌改善（pH、排水対策）
- ② 雑草対策
- ③ 肥料！肥料！肥料！
- ④ 追肥は栽培こよみを厳守!!
穂揃期追肥は確実に!!

4. 令和4年産各CEにおける品種構成（播種前契約より）

（採種の面積は含みません）

単位：ha

| 施設 品種 | 北野CE | | 吹上・八坂CE | | 大刀洗CE | | みい地区計 | |
|----------|-------|-------|---------|-------|-------|-------|--------|--------|
| | 3年産実績 | 4年産計画 | 3年産実績 | 4年産計画 | 3年産実績 | 4年産計画 | 3年産実績 | 4年産計画 |
| チクゴイズミ | 72.6 | 76.8 | 188.2 | 195.0 | 122.7 | 122.2 | 383.5 | 394.0 |
| シロガネコムギ | 92.5 | 95.0 | 133.3 | 135.0 | 191.9 | 190.0 | 417.7 | 420.0 |
| ちくしW2号 | — | — | 306.7 | 305.0 | — | — | 306.7 | 305.0 |
| ほうしゅん | — | — | 248.1 | — | 49.3 | — | 297.4 | 0.0 |
| はるか二条 | 68.9 | 69.0 | — | — | — | — | 68.9 | 69.0 |
| はるさやか | — | — | — | 254.0 | 25.4 | 78.0 | 25.4 | 332.0 |
| 計 | 234.0 | 240.8 | 876.3 | 889.0 | 389.3 | 390.2 | 1499.6 | 1520.0 |

5. はるさやか栽培について

品種特性

- 穂数、1穂粒数が多く、「ほうしゅん」より10%多収
- オオムギ縮萎病に抵抗性
- 被害粒は少なく、検査等級が優れる
- 整粒歩合はやや低いが、千粒重はやや大きい

生産について

- 播種量、施肥量については基本的にほうしゅんに準ずる
- 土壌酸性対策は石灰系土改材によりしっかりと行う（pH6.0～6.5）
- 排水対策もしっかりと

大麦網斑病予防対策

- トリフミン水和剤による種子消毒の徹底
- 茎立期以降、病斑が認められたら遅くとも出穂期までにチルト乳剤、ワークアップ、シルバキュア散布で伸展予防（赤かび病散布時期では効果低い）

| 月 | 11月 | | 12月 | | 1月 | | 2月 | | 3月 | | 4月 | | 5月 | | | | | |
|------|---------------------------------|---|-----|---|----|---|----------------------|---|----|---|----|---|--------------|---|---------|--|----------|--|
| 旬 | 上 | 中 | 下 | 上 | 中 | 下 | 上 | 中 | 下 | 上 | 中 | 下 | 上 | 中 | 下 | | | |
| 主な作業 | ← 土壌改良剤散布、排水対策、種子消毒、施肥・播種、除草剤散布 | | | | | | ← 踏圧、追肥、除草剤散布、土入れ・踏圧 | | | | | | ← 出穂期 ※網斑病防除 | | ← 赤かび防除 | | ← 成熟期 収穫 | |

【園芸振興方針】

青果物を取り巻く状況は、新型コロナウイルスの影響により感染者拡大で依然厳しい状況が続いています。一時的に11月から12月にかけては終息したかと思われましたが、1月になりオミクロン変異株が拡大蔓延し、再び首都圏などの「蔓延防止等重点措置」が発動され、外食産業等の自粛によって青果流通がうまく機能せず市況が低迷しており、生産量については前年比を下回っている現状です。

花きの販売状況は、イベント関係が徐々に回復され前年に比べては販売環境は良くなってきていますが、変異株の影響次第では、この先どうなるのか解らない不透明な状況です。

このような状況の中、これからも当JAでは、協同出荷のメリットを充分打ち出して生産者の所得向上に繋げるための販売努力を行います。

また新品目の導入を目指し、部会への加入を推進して行きます。

1) JA集荷でのメリット

- (1) 「食べてみ！」のブランド化で全国の卸売市場や量販店に販売展開
- (2) 直販事業による販売で、生産者の手取りアップを目指している
- (3) 野菜のセット販売と契約栽培による所得の安定を目指している
- (4) 部会での情報共有による結束力と安定基金加入により価格補償あり

2) 部会への加入

JAみいは、部会や研究会等への加入や、様々な野菜の販売を推進しています。尚、部会や研究会等への加入には、いくつかの要件がありますので詳しくは園芸流通センター、大刀洗集荷場 までお問い合わせください。

園芸流通センター 電話 23-1710 (主に北野、小郡地区)
 大刀洗集荷場 電話 77-0700 (主に大刀洗地区・花卉)
 営農センター 電話 78-3039 (経理、精算総合事務)

※ 現在、新規品目等の推進を行っています。お気軽にご相談ください。

【園芸流通センター所属部会】

| 部会、研究会 | 申込期限 | 要件 | その他 | 安定基金 |
|-----------------|------|----------------|----------|------|
| サニー部会 | 5月末 | 加入金、負担金、作付面積、他 | 7月の総会で決定 | ○ |
| ロメインレタス部会 | 5月末 | 加入金、負担金、他 | 7月の総会で決定 | ○ |
| 中国野菜部会 (青梗菜) | 12月末 | 加入金、負担金、他 | 2月の総会で決定 | × |
| 水菜部会 | 随時 | 加入金、負担金、他 | 1月の総会で決定 | ○ |
| 小松菜部会 | 12月末 | 加入金、負担金、他 | 3月総会で決定 | ○ |
| 春菊部会 | 12月末 | 加入金、負担金、他 | 3月末会議で決定 | ○ |
| 青果ほうれん草部会 | 5月末 | 加入金、負担金、他 | 8月の総会で決定 | ○ |
| ニラ部会 | 1月末 | 加入金、負担金、他 | 4月の総会で決定 | ○ |
| ブロッコリー部会 | 5月末 | 加入金、負担金、他 | 8月の総会で決定 | × |
| スイートコーン部会 | 11月末 | 加入金、負担金、他 | 8月の総会で決定 | × |
| オクラ・菜花部会 | 11月末 | 加入金、負担金、他 | 6月の総会で決定 | × |
| ズッキーニ部会 | 11月末 | 加入金、負担金、他 | 8月の総会で決定 | × |
| ロケット・スピナッチ研究会 | 3月末 | 加入金、負担金、他 | 6月の総会で決定 | × |
| 空芯菜研究会 | 随時 | 加入金、負担金、他 | | × |
| モロヘイヤ研究会 | 随時 | 加入金、負担金、他 | | × |
| 博多小ネギ部会 | 3月末 | 加入金、負担金、他 | 4月の総会で決定 | ○ |

【 大刀洗集荷場所属部会 】

| 部会、研究会 | 申込期限 | 要件 | その他 | 安定基金 |
|------------------|-----------------|-----------------------|----------|------|
| 大刀洗レタス部会 | 6月 | 加入金、負担金、他 品種、品質の統一 | 7月の総会で決定 | ○ |
| 大刀洗リーフ部会 | 6月 | 加入金、負担金、他 品種、品質の統一 | 7月の総会で決定 | ○ |
| 大刀洗ほうれん草部会 | 6月 | 加入金、負担金、他 品種、品質の統一 | 7月の総会で決定 | × |
| 大刀洗中国野菜部会 | 6月 | 加入金、負担金、他 品種、品質の統一 | 7月の総会で決定 | × |
| 大刀洗ナバナ・オクラ部 会 | オクラ5月 ナバナ10月 | 加入金、負担金、他 品種、品質の統一 | 7月の総会で決定 | × |
| 夏野菜部会 | 3月 | 加入金、負担金、他 品種、品質の統一 | 4月の総会で決定 | × |

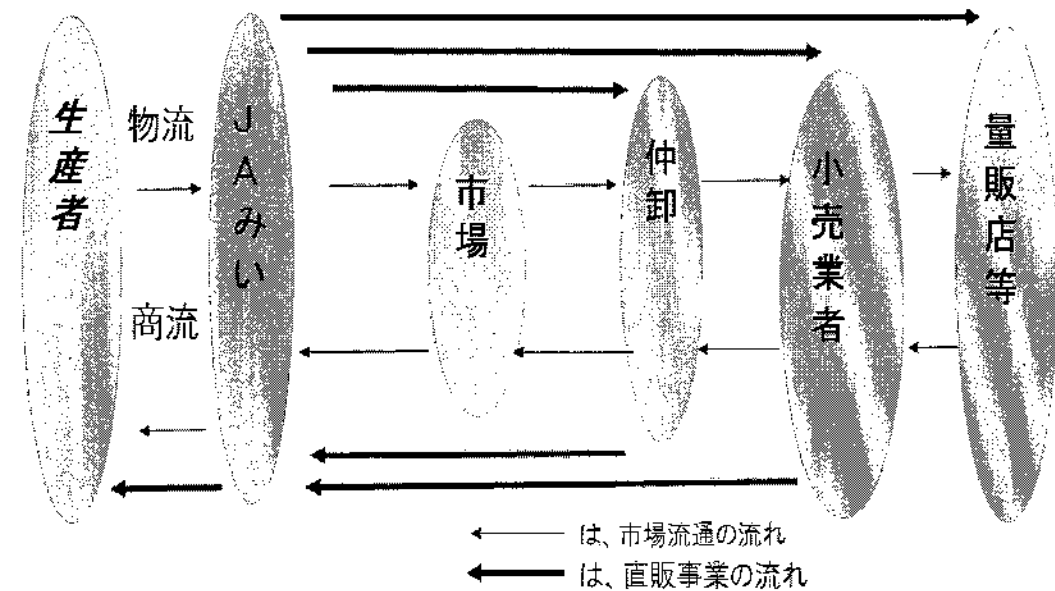
※各部会別に協議会費有り。各部会申し合わせ事項、大刀洗共撰共販協議会規約に準じる

【 花卉関係部会 】

| 部会、研究会 | 申込期限 | 要件 | その他 | 安定基金 |
|--------|------------------|-----------|---|------|
| 切花部会 | 随時 基本は4月 末 | 加入金、負担金、他 | 5月総会にて決定 ★施設栽培 (トルコギキョウ、 ラナンキュラス他) ★露地栽培 (ヒマワリ、小菊、 テッポウユリ他) | × |
| 鉢物研究会 | 随時 基本は6月 末 | 加入金、負担金、他 | 7月総会にて決定 | × |

※部会内に研究会有り、各研究会ごとに負担金有り。

直販流通の流れ詳細図



○直販事業は、市場を通じて販売をしない分の生産者への手数料率が減少し、手取りが確実に多くなります。

$$\text{市場手数料} \cdot \text{JA全農手数料 } 9.1\% - \text{直販手数料 } 5\% = \text{差 } 4.1\%$$

※ 仮に、市場への販売金額を1,000万円売り上げたとして、91万円手数料負担。これを直販事業での販売にすると50万円の負担金となり差額41万円となります。いかに、直販事業がメリットがあるかわかりますよね。

直販事業は、通常出荷に対して手間暇がかかりますが生産者手取りをUPするための手間を惜しみません。今後とも協力宜しくお願い致します。

■ 営農部販売促進課

1. 農産物買取販売強化について

○野菜類の買取りについて

販売促進課は組合員さんと品目、単価、数量等話し合い、野菜の買取りを行っております。現在、販売先といたしましては、葉物野菜を中心にスイートコーン、枝豆（キヨミドリ）等を小売店・加工業者・飲食店等に販売をしています。又、今年度は、加工用野菜（高菜、ブロッコリー、南瓜等）の買取り強化を行い販売しました。



2. 米の買取りについて

○販売促進課は直接組合員さんからお米を買取ります。

※販売促進課の買取りメリット

- ① 紙袋、フレコン等にて買取りします。（フレコンは準備します。）
- ② 乾燥粳での買取りも行います。
- ③ くず米のみの買取りも OK です。

※現在、玄米・くず米等をまだ販売されてない方は気軽にご相談ください。

3. 6次化商品の企画販売について

○みい管内で生産された農産物を活用し、6次化商品の販売を行っております。

●JA みい6次化商品のご紹介

- ① 夢つくしを使用して作った、『ふっくら白がゆ』
- ② 肉厚で歯切れの良い高菜で作った『からし高菜漬け』
- ③ 新鮮な小松菜とJA みい合わせ味噌で作った『小松菜のお味噌汁』



※現在みい管内では、めぐみの里、大刀洗Aコープにて販売しております。

組合員 各位

組合員・利用者向け情報提供ツール

「JAみいコネクト」のご案内

JAみい 経済部

JAみいでは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標として、自己改革に取り組んでいます。その一環として、デジタル化による利便性の向上を目指した「JAみいコネクト」を導入しました。

「JAみいコネクト」とは、JAグループが提供しているWebサービスをまとめたリンク集です。下記の主な機能以外にも、様々なサービスを提供しています。

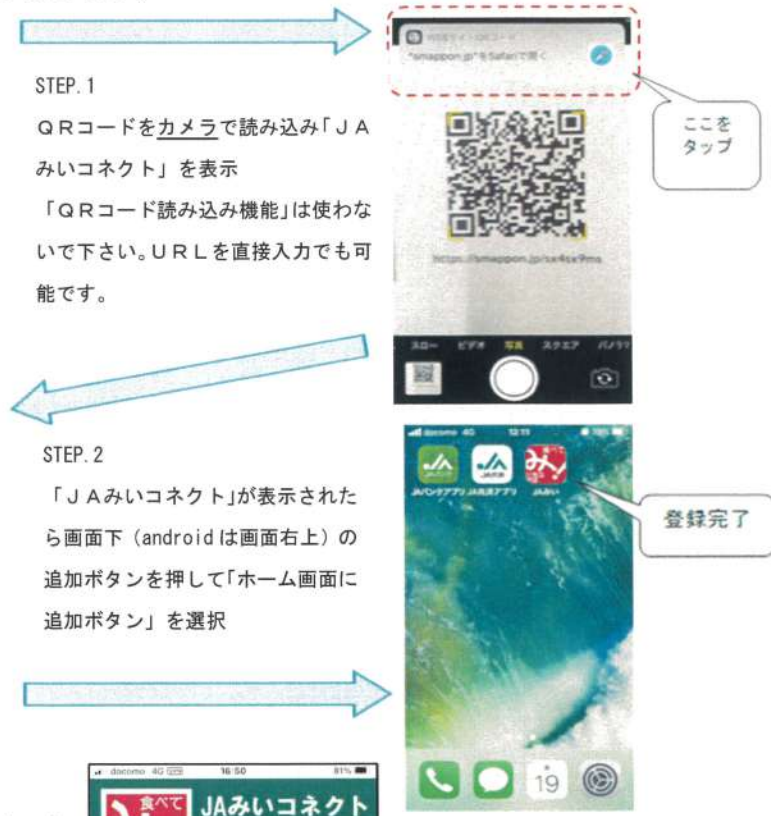
| | | |
|---|--|---|
| <p>《情報受信機能》</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 各イベントの開催情報 ● 米・麦・大豆等、作物毎の栽培情報(お知らせの配信設定が必要です。) | <p>《帳票電子配布機能》</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 購買品の「購買代金決済明細書」を電子帳票で配布 ● 農産物の「販売代金精算通知書」を電子帳票で配布 | <p>《生産資材Web注文機能》</p> <ul style="list-style-type: none"> ● スマートフォン等で肥料・農薬を注文 ● 自宅でも営業時間外でも、注文が可能 |
| <p>案内チラシや回覧文書よりも、早く・確実に届きます！</p> | <p>紙面の明細書を管理することが不要になります。</p> | <p>将来的には、紙面の注文書提出が不要になります。</p> |

※ ご利用の際には、QRコード読み込みおよび会員登録のために紙面の利用申込書提出が必要ですので、**各支店でお申し込みください。**

支店でのお申し込み後

《利用開始時の設定》

(1) まず、QRコード読み込みまたはURL入力により、「JAみいコネクト」のアイコンをホーム画面に追加します。



(2) 次に、「JAみいコネクト」を開いて、LINE「JAみい公式」から「JAみい公式アカウント」を「友だち追加」します。

ここをタップ

まずは(2)までの設定をお願いします。

《会員登録》

- (3) 各支店で利用申込書を提出した後に、「初期ID・パスワード」を記載した圧着ハガキが「親展」で郵送されます。
- (4) 「初期ID・パスワード」を記載した圧着ハガキの説明を参照して、「会員ページ」より会員登録を行ってください。